

2026年度 共立女子大学大学院 試験問題

選抜制度	日程	研究科	領域	科目
一般	Ⅱ期	文芸学研究科	日本文学領域	専門科目(日本文学)
受験番号		氏名		採点

一 次の文章をよく読んで、後の問に答えなさい。

左衛門の内侍(注1)といふ人はべり。あやしうAすずろによからず思ひけるも、え知りはべらぬ、心憂きしりうごとの、おほう聞こえはべりし。

内裏のうへ(注2)の、源氏の物語人に読ませたまひつつ聞こしめしけるに、「Iこの人は日本紀をこそ読みたるべけれ。まことに才あるべし」と、のたまは①せけるを、ふと推しはかりに、「いみじうなむ才が②ある」と、殿上人などにいひ散らして、日本紀の御局とぞつけたりける、いとをかしくぞはべる。このふる里の女の前にてだに、Bつつみはべるものを、さるところにて、才さかし出ではべらむよ。

この式部の丞(注3)といふ人の、童にて書読みはべりし時、聞きならひつつ、IIかの人はおそう読みとり、忘るるところをも、あやしきまでぞさどくはべりしかば、書に心入れたる親は、「口惜しう、男子にて持たら③ぬこそ幸ひなかりけれ」とぞ、つねに嘆かれはべりし。

それを、「をのこだにC才がりぬる人は、いかにぞや、はなやかならずのみはべるめるよ」と、やうやう人のいふも聞きとめて後、一といふ文字をだに書きわたしはべらず、いとてづつに、Dあさましくはべり。読みし書などいひけむもの、目にもとどめずなりてはべりしに、いよいよ、かかること聞きはべり④しかば、いかに人も伝へ聞きてにくむらむと、恥づかしきに、御屏風の上に書きたることをだに読まぬ顔をしはべりしを、宮(注4)の、御前にて、文集(注5)のところどころ読ませたまひなどして、Xさるさまのこと知ろしめさまほしげにおぼいたりしかば、いとしのびて、人のさぶらはぬものひまひまに、をととの夏ごろより、楽府(注6)といふ書二巻をぞ、しどけながら教へたてきこえさえてはべる、隠しはべり。宮もしのびさせたまひしかど、殿(注7)もうちもけしきを知らせたまひて、Y御書どもをめたう書かせたまひてぞ、殿はたてまつらせたまふ。まことにかう読ませたまひなどすること、はた、かのものいひの内侍は、え聞かざるべし。知りたらば、いかにそしり⑤はべらむものと、すべて世の中ことわざしげく憂きものにはべりけり。『紫式部日記』

注1 左衛門の内侍……内裏女房。「内侍」は内侍所の女官。

注2 内裏のうへ……主上。ここでは一条天皇。

注3 式部の丞……紫式部の弟。惟規。

注4 宮……中宮。ここでは彰子。

注5 文集……『白氏文集』のこと。唐の詩人白居易(楽天)の詩文集。

注6 楽府……音楽に合わせて謡う古詩の一体。『白氏文集』では「新楽府」。

注7 殿……道長。

2026年度 共立女子大学大学院 試験問題

選抜制度	一般	Ⅱ期	日程	研究科	文芸学研究科	領域	日本文学領域	科目	専門科目(日本文学)
受験番号			氏名					採点	

問一 傍線部A～Dの意味を書きなさい。

A 〔

〔 B 〔

〕

C 〔

〔 D 〔

〕

問二 点線部①～⑤の活用形を、あとの選択肢㉠～㉣の中から選んで、記号で答えなさい。(重複回答可)

① 〔

〕

② 〔

〕

③ 〔

〕

④ 〔

〕

⑤ 〔

〕

㉠ 未然形

㉡ 連用形

㉢ 終止形

㉣ 連体形

㉤ 已然形

㉦ 命令形

問三 波線部Ⅰ「この人」とⅡ「かの人」は誰のことか。あとの選択肢㉠～㉣の中から選んで、記号で答えなさい。

Ⅰ 〔

〕

Ⅱ 〔

〕

㉠ 左衛門の内侍

㉡ 殿上人

㉢ 紫式部

㉣ 殿上人

㉤ 惟規

㉦ 中宮

問四 二重傍線部「一といふ文字をだに書きわたしはべらず」とふるまった理由について説明しなさい。

問五 太線部(X)(Y)を、指示内容や主語がわかるように現代語訳しなさい。

X

2026年度 共立女子大学大学院 試験問題

	受験番号	一般	選抜制度
		Ⅱ期	日程
	氏名	文芸学研究科	研究科
		日本文学領域	領域
		専門科目(日本文学)	科目
採点			

二次の文章をよく読んで、後の問題に答えなさい。

この部分は著作権の関係で掲載できません。

2026年度 共立女子大学大学院 試験問題

選抜制度	日程	研究科	領域	科目
一般	Ⅱ期	文芸学研究科	日本文学領域	専門科目(日本文学)
受験番号		氏名		採点

問一 波線部①～⑤のカタカナを、それぞれ適切な漢字に改めなさい。

- ① ② ③ ④ ⑤

問二 空欄「A」～「C」に入る語を、それぞれ次のア～カから選んで記号で答えなさい。

A () B () C ()

- ア 装置 ① 翻案 ② 創作 ③ 含意 ④ 音調 ⑤ 脚本

問三 空欄≪X≫～≪Z≫に入る語を、それぞれ次のア～オから選んで記号で答えなさい。

X () Y () Z ()

- ア しかし ① たとえば ② したがって ③ 一方 ④ つまり

問四 傍線部について、二葉亭四迷がジュコーフスキー流の翻訳法を理想としながら、それを採用しなかったのはなぜか。本文に即して簡潔に説明しなさい。

問五 森鷗外の作品の中から、言文一致体のもと、それによらないものを、それぞれ一作品ずつ挙げなさい。

言文一致体の作品 () 言文一致体でない作品 ()

問六 二葉亭四迷の小説でなく翻訳が影響を与えた理由について、「ロシア語」「翻訳」の二つの語を用い、空欄

に入る文を二〇字以内で答えなさい。

